

令和7年産 仙南稲作情報（第1号）

令和7年6月12日発行
宮城県大河原農業改良普及センター
TEL：0224-53-3496 FAX：0224-53-3138
※この資料に関する問い合わせは、
上の連絡先までお願いします。

- 5月上旬移植の場合、概ね平年並に生育。
- 低温時以外は水深2～3cmの浅水で管理し、初期生育を確保。
- 斑点米カメムシ対策として、ほ場周辺の除草は計画的に行いましょう！

1 気象経過

- ・5月は平年に比べて平均気温がほぼ平年並（+0.3℃）、日照時間は少なかった（91%）。また、数日おきに降雨があり、5月31日に大雨があった影響で降水量はかなり多かった（201%）。

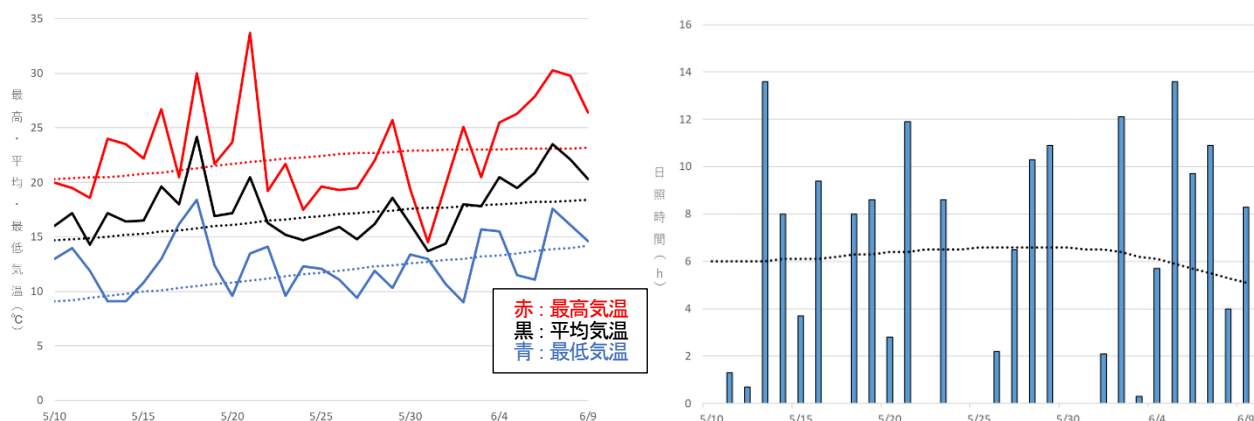


図1 気象経過（丸森アメダス、5月10日～6月9日）

2 管内の生育状況

【6月10日調査結果】

□ 皆さんのほ場と場所や品種、田植日が近いところのデータを参考にしてください。

草丈は平年並～短く、葉数は平年並～やや少ない

（1）主要品種（「ひとめぼれ」「つや姫」）

表1 管内の生育調査結果（6月10日）

No	ほ場所在地	地帯区分	品種	田植		草丈			茎数			葉数			葉色		
				本年	前年	(cm)	平年比	前年比	(本/㎡)	平年比	前年比	(枚)	平年差	前年差	(GM)	平年差	前年差
1	角田市	南部平坦	ひとめぼれ	5/13	5/12	29.7	100%	94%	241	119%	156%	7.3	-0.4	-0.8	42.0	-0.4	-1.5
2	白石市	西部丘陵	ひとめぼれ※	5/19	5/18	26.9	103%	87%	70	72%	85%	4.8	-1.9	-1.7	29.3	-2.3	+1.5
「ひとめぼれ」平均				5/16	5/15	28.3	101%	91%	155	96%	121%	6.1	-1.2	-1.3	35.7	-1.4	±0.0
3	角田市	南部平坦	つや姫※	5/23	5/24	27.1	103%	117%	51	45%	77%	5.1	+0.0	+1.2	-	-	-
4	村田町	南部平坦	つや姫	5/4	5/4	26.0	87%	79%	283	97%	83%	7.3	-0.2	±0.0	45.9	-0.4	-0.1

◆山間高冷「やまのしずく」は、7月14日頃発行の稲作情報（第4号）から結果を掲載予定。

◆平年値は前5か年(R2～R6)の平均値

※白石市「ひとめぼれ」は前年度から調査ほ場を変更しているため、平年比・差や前年比・差は参考。

※今年度の角田市「つや姫」は葉身が細く、葉色を計測できなかったため、記載なし。

- ・5月中旬移植の南部平坦「ひとめぼれ」は、草丈は平年並、茎数は多く（119%）、葉数はやや少なくなっています。南部平坦「つや姫」は、5月上旬の移植では平年よりも草丈が低く（87%）、茎数、葉数、葉色は概ね平年並です。下旬移植の場合、移植直後に気温が低かったことから、生育はやや緩慢です。

（２）「だて正夢」（粘りの強い低アミロース品種）

表２ 「だて正夢」の生育調査結果（６月１０日）

ほ場所在地	地帯区分	品種	田植		草丈			茎数			葉数			葉色		
			本年	平年	(cm)	平年値	平年比	(本/㎡)	平年値	平年比	(枚)	平年値	平年差	(GM)	平年値	平年差
角田市	南部平坦	だて正夢	5/6	5/5	36.3	35.7	102%	256	275	93%	7.1	7.7	-0.6	41.6	41.9	-0.3

※角田市「だて正夢」の平年値は、令和元年～5年の5年平均。

- ・草丈は平年並、茎数・葉数はやや少ない。葉色は平年並。
- ・上旬移植の場合は、概ね平年並の生育になっていると思われます。

３ 今後の管理

【病 害 虫 防 除】

①葉いもち

< 防除のポイント >

❑ 残苗（補植用残苗）は、**早急に処分**しましょう。

補植用残苗を放置するといもち病の感染源となり、葉いもち発生を助長する可能性があります。早急に処分しましょう。

※欠株は２株以上連続しなければ収量に影響しません。

❑ 葉いもち予防剤を箱施用していない場合

６月中旬頃から梅雨入りし雨天が続くと思われるため、葉いもちが発生しやすくなります。予防粒剤は６月２０日頃までに散布しましょう。

- ・葉いもちの進展は生育不良を招いたり、穂いもちの発生を助長して減収につながります。水田をこまめに見回り、早期発見と早期防除に努めましょう。

【雑草防除】

- ・５月下旬前半までに田植したほ場では残草に注意しましょう。草種と生育量、稲の葉齢を確認し、適切な薬剤を選んで、適期に処理しましょう。
- ・５月下旬後半以降に田植した場合には、散布後１週間の湛水管理を行い、その後に間断かん水を行いましょう。
- ・斑点米カメムシ類の発生を抑制するため、７月中旬までにほ場周辺の休耕田や土手・畦畔等の除草に努めましょう。**令和６年度はカメムシ類の発生が多かったことから、事前の対策が重要です。**

❑ 最新情報で農薬登録を確認のうえ、使用してください。

❑ 農薬使用の際に飛散防止対策を講じましょう。

【水管理・中干し】

- 日中の水温が高くなる浅水管理（水深2～3cm）で分げつの発生を促し、目標茎数の早期確保を目指しましょう。
- 漏水している水田が散見されます。水稻の生育のためにも畦畔のザリガニ穴等を塞ぐとともに、畦波板等で漏水を防止しましょう。
- 地温の上昇に伴い土中の酸素が不足し、有害物質（メタン、硫化水素等）の発生が目立ってくる時期です。間断かんがいで根の活力維持に努めましょう。
- 生わらや未熟堆肥をすき込んだほ場では、有害物質（硫化水素ガス等）が発生し易く、生育が阻害されることがあります。この場合には一時落水して、有害物質を除去しながら土壌への酸素供給を行いましょう。
- 中干しは、目標有効茎数を確保してから実施しましょう！

※茎数の数え方：主茎と分げつの数を数えます。分げつは、新葉が出てきている茎を数えます。

表3 株当たりの目標茎数

品種	目標有効茎数（穂数）	植付株数	目標茎数
ひとめぼれ	410～460本/m ²	50株/坪	27～30本/株
		60株/坪	23～25本/株
つや姫	400～440本/m ²	50株/坪	26～29本/株
		60株/坪	22～24本/株

- 年々田植時期が拡大していることも影響して、水稻の生育はほ場間差が大きく、生育が旺盛なほ場では、まもなく目標茎数に達するほ場も見られます。
- 目標茎数（目標穂数）を確保したら、根の活力向上、無効分げつの発生抑制、土壌物理性の改善のため、中干しを行いましょう。
- 中干しの程度は、田面に小さな亀裂が入り、足跡が付く程度の固さまでとし、遅くとも幼穂形成期までには終わるようにしましょう。
- 中干し終了後に、急に湛水状態にすると土壌の還元が進み、中干しをしない場合よりも酸素不足になり根を傷めやすくなります。中干し終了直後は走り水程度とし、徐々に湛水状態に戻しましょう。

4 直播栽培における管理のポイント

【6月10日調査結果】

○水稻直播き栽培（鉄コーティング湛水直播き（点播）：品種「ひとめぼれ」）

- ・直播栽培展示ほの苗立ち本数は50.8本/㎡（「ひとめぼれ」の目標：60本/㎡）。
- ・生育調査結果では、平年の生育と比較し、草丈が長く、茎数は少なく、葉数は平年並となっています。

表4 「水稻直播展示ほ」の生育調査結果（調査日：6月9日）

ほ場所在地	品種	播種月日		苗立数(本/㎡)		草丈			茎数			葉数		
		本年	前年	本年	前年	(cm)	平年値	平年比	(本/㎡)	平年値	平年比	(枚)	平年値	平年差
蔵王町	ひとめぼれ	5/9	5/10	50.8	52.5	23.1	18.1	127%	50.8	74.2	68%	4.4	4.2	+0.2

【水管理】

- ・除草効果を維持し、分げつの発生を促すため、浅めの湛水管理を行いましょう。
- ・目標穂数（ひとめぼれ：450本/㎡）の80%程度の確保に向けて水管理に注意しましょう。

【雑草防除】

- ・残草している場合には、草種と生育量、イネの葉齢を確認し、適切な薬剤を選んで、適期に処理しましょう。

【病虫害防除】

- ・いもち病予防粒剤を播種同時施用や種子処理剤の施用を行っていない場合は、粒剤による予防防除を行いましょう。ほ場を観察し、早期発見、早期防除に努めましょう。

○令和7年度宮城県農薬危害防止運動実施中（6/1～8/31）

- 農薬の使用に当たっては、
農薬のラベルをよく読み、周辺へ配慮し、飛散防止対策を徹底しましょう！
- 最新の農薬情報は、農林水産省ホームページで確認できます。
(https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_tekisei/index.html)

○春の農作業安全確認運動展開中（～6/30まで）

- トラクター等の自走式農業機械を操作するときはシートベルト、ヘルメットの着用を徹底しましょう。